

雲行きを気にすれば刈り入れはできない。

5 妊婦の胎内で霊や骨組みがどの様になるのかもわからないのに、すべてのことを成し遂げられる神の業がわかるわけではない。

6 朝、種を蒔け、夜にも手を休めるな。

実を結ぶのはあれかこれか

それとも両方なのか、わからないのだから。

### 【生きるを学ぶ、学びが生きる】

最近本学のキャッチフレーズとして選ばれたのが、本日の奨励タイトルです。生きることと学ぶことが同じこと、あるいは相補的な関係としてとらえられています。

動植物や生態系を含んだ「生命」を扱うのが農学系の学問ですが、「生命」とはある種の循環を含んだものといえるかもしれません。そのような農学はいわゆる「実学」として社会で役立てることができるでしょう。しかし、たとえ農学系の仕事に就かなかつたとしても、大学の学びは生きるのに「役立つ」ことを目指しています。今日役立つことも30年後に役立つこともあるかもしれません。いずれにせよ応用のためには基礎が大切です。今はしっかり基礎を築いて、生き方をさぐり、将来学びを生かせるようにするときです。

聖書を学ぶことは、黒澤酉蔵が重視したことのひとつです。農学をはじめとする学問のもとには、それを支える思想があります。黒澤にとってそれは聖書の思想だったので、私たちもそれを学んでいるのです。

### 【聖歌隊へのお誘い】

大学礼拝では、聖歌隊の合唱による讃美をプログラムしています。どなたでも参加できます。斉唱のみでなく、合唱で讃美をする楽しさは、世界を広げます。礼拝後、オルガン前に集合してください。

### 【次回の礼拝】

今回は10月29日で秋季キリスト教教育強調週間の礼拝があります。皆さんの先輩である西川求先生（北海道三愛畜産センター理事長）が奨励してください。ご期待ください。礼拝の後茶話会もあります。

### 【前回の出席者】 2019年10月8日

学生 312名 教職員他 9名 計 321名

## 【大学礼拝週報】 2019年度 第19号（後学期第4号）

2019年10月15日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

### 《大学礼拝》

司 式 高橋優子（キリスト教学教員）  
奏 楽 加藤啓（とわの森三愛高校教員）  
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「MODERATO ASSAI」（G. Merkel 作曲）

讃 美 讃美歌 452番（ただしく清くあらまし）

聖 書 コヘレトの言葉 11章 1-6節

祈 り

さんび

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「生きるを学ぶ、学びが生きる」

谷山弘行（酪農学園理事長）

讃 美 酪農讃歌

報 告

後 奏 「Short Postludes(a)」（Ch. H. Rinck 作曲）

### 【本日の聖書】 コヘレトの言葉 11章 1-6節

- 1 あなたのパンを水に浮かべて流すがよい。  
月日がたってから、それを見出すだろう。
- 2 七人と、八人とすら、分かち合っておけ  
国にどのような災いが起こるか わかったものではない。
- 3 雨が雲に満ちれば、それは地に滴る。  
南風に倒されても北風に倒されても  
木はその倒れたところに横たわる。
- 4 風向きを気にすれば種は蒔けない。